

令和元年度（平成30年度実施分）個別施策評価シート

①建設産業 委員会

評価する個別施策	立地促進のための支援 ・企業立地を促進するための条例及び要綱に基づき、次代を担う新産業・先端産業等を中心とした企業が進出しやすい環境を整えます。 ・税制面や規制緩和などの優遇措置や企業立地促進のための奨励金制度など必要な支援を行います。
----------	---

項目別評価 ※評価欄の該当項目に○印を付け、判断理由・評価コメント欄は必ず記入してください。

評価項目	評価基準			判断理由・評価コメント	
	点数	チェック	評価点		
個別施策の実現に向けて順調か	概ね順調		76～100	25	順調に進んでいる点 ・総合計画における長期的な目標に対する成果は順調である。
	どちらかといえば順調		51～75		遅れている点
	どちらかといえば遅れている		26～50		・目標値は1件であるが実績は0件である。 ・市ホームページに情報がなにもない。 ・半田市独自の施策がない。 ・成果指標に雇用者数がない。
	遅れている	○	0～25		
構成する事務事業は、個別施策を実現するために有効か	個別施策実現のために必要な内容が不足していないか			・不足している。	
	無駄な事業・内容はないか（不要な事業、類似事業を含む）			・なし	
	その他コメント			・なし	
施策の今後の方向	注力すべき事業・内容はあるか。どのように改善するか（事業自体はあるが、改善をすべき内容を記載。委託も。）			・ホームページを企業立地がしたくなるような内容へ変えること。	
	追加すべき事業はないか（事業自体無い、あるいは、不足している内容を記載）			・今後予想される企業流出を防ぐ方策を立てること。 ・労働者数が大幅に増加すると同時に、朝夕通勤時の渋滞緩和策も考えること。 ・半田市へ実際に進出した企業についてPR誌などを作成しシティプロモーション事業として活用すること。	
	廃止すべき事業・内容はあるか			・なし	
	その他コメント（不要だが廃止しない場合の理由、などを記入）			・なし	
その他コメント	・雇用者数等を含む成果指標の見直しを図ること。 ・そもそも企業立地のための土地がない。 ・商工会議所、金融機関・専門コンサルと協力して民間主導の企業団地を作ること。				

令和元年度（平成30年度実施分）個別施策評価シート

②建設産業 委員会

評価する個別施策	まちなか居住の推進 ・鉄道駅周辺で、日常生活に必要な機能の集積と計画的な生活基盤の整備による良好な居住環境の形成を図ります。
----------	--

項目別評価 ※評価欄の該当項目に○印を付け、判断理由・評価コメント欄は必ず記入してください。

評価項目	評価基準			判断理由・評価コメント	
	点数	チェック	評価点		
個別施策の実現に向けて順調か	概ね順調	76～100		5	遅れている点 ・まちなか居住の概念はあるが、半田市としてまちなか居住をどうすべきかが理解できない。 ・まちなか居住の概念を市民に周知できていない。 ・「まちなか居住の推進」のビジョンがない。 ・JR半田駅と知多半田駅以外の鉄道駅周辺でのまちなか居住の推進については全く議論が進んでいない。 ・JR半田駅の土地区画整理事業（用地取得）を進めるだけでは、まちなか居住の推進ができるとは限らない。
	どちらかといえば順調	51～75			
	どちらかといえば遅れている	26～50			
	遅れている	0～25	○		
構成する事務事業は、個別施策を実現するために有効か	個別施策実現のために必要な内容が不足していないか			・不足している。	
	無駄な事業・内容はないか（不要な事業、類似事業を含む）			・なし	
	その他コメント			・なし	
施策の今後の方向	注力すべき事業・内容はあるか。どのように改善するか（事業自体はあるが、改善すべき内容を記載。委託も。）			・用地取得は必要であることは理解するが、半田市としてどのようなまちなか居住にするかのビジョンを示し、市民に理解を得る必要がある。 ・未利用地の有効活用を進めること。	
	追加すべき事業はないか（事業自体無い、あるいは、不足している内容を記載）			・JR半田駅と知多半田駅以外の鉄道駅周辺でのまちなか居住の推進についての議論をすること。 ・まちなか居住の具体策を作成したうえでJR半田駅の土地区画整理事業を推進すること。	
	廃止すべき事業・内容はあるか			・なし	
	その他コメント（不要だが廃止しない場合の理由、などを記入）			・なし	
その他コメント	・都市マスタープランの各エリアにおける市街地整備に対し、まちなか居住の推進に関わる施策がどれだけ目的達成に寄与できているか、しっかりと検証し、事業の構築をすること。				

令和元年度（平成30年度実施分）個別施策評価シート

③建設産業 委員会

評価する個別施策	啓発活動の推進 ・ 景観シンポジウムや絵画・写真コンテストの開催、出前講座などにより、景観に関する啓発活動を進めます。
----------	---

項目別評価 ※評価欄の該当項目に○印を付け、判断理由・評価コメント欄は必ず記入してください。

評価項目	評価基準			判断理由・評価コメント	
	点数	チェック	評価点		
個別施策の実現に向けて順調か	概ね順調	76～100		25	順調に進んでいる点 絵画、写真コンテストなどは市民に浸透してきている。 遅れている点 ・ 景観とは何かを考える内容になっていない。 ・ 市民に理解を得るといった観点が欠落している。 ・ 景観形成重点地区とは何かの理解が市民にされていない ・ 大人に向けた啓発が足りない。
	どちらかといえば順調	51～75			
	どちらかといえば遅れている	26～50			
	遅れている	0～25	○		
構成する事務事業は、個別施策を実現するために有効か	個別施策実現のために必要な内容が不足していないか			・ 不足している。	
	無駄な事業・内容はないか（不要な事業、類似事業を含む）			・ なし	
	その他コメント			・ なし	
施策の今後の方向	注力すべき事業・内容はあるか。どのように改善するか（事業自体はあるが、改善をすべき内容を記載。委託も。）			・ 景観とは何か、景観形成の必要性を理解してもらえる内容にすること。 ・ 小学生だけではなく、広く市民に向けた啓発活動を充実すること。 ・ 地区ごとに課題が異なるため、一般的な横並びの景観のシンポジウムをやっても今以上には物事が進まないため、それぞれの地区ごとにターゲットを絞った勉強会やシンポジウムが必要である。	
	追加すべき事業はないか（事業自体無い、あるいは、不足している内容を記載）			・ 市民に理解を得るといった姿勢での啓発活動を行うこと （例：良い景観とは、景観整備がなぜ必要か、など身近な景観づくりについてわかりやすい「景観づくりの手引き」や動画の作成） ・ 景観形成重点地区とは何かとの理解を得られる啓発活動を行うこと。 ① 亀崎や岩滑が景観形成重点地区に指定されているのを市民が知らない。 ② 亀崎、岩滑、半田運河がなぜ景観形成重点地区に指定されているのかも理解が得られていない。 ・ 子どもたちの意識がどう変わったか指標の取り方を見直すこと。 ・ 景観形成として素晴らしい建築物（既存も含む）に対し“呼び水効果”を狙い特別褒賞制度をつくること。 （例：半田市フラワーコンクールの様な制度） ・ 半田運河周辺の数あるイベントと景観の啓発活動とむすびつけること。	
	廃止すべき事業・内容はあるか			・ なし	
	その他コメント（不要だが廃止しない場合の理由、などを記入）			・ なし	
その他コメント				・ 座学より現場を！市内で景観に配慮した風景や建物を見るまち歩きをし、生きた学習をすることで啓発活動につなげること。 ・ 啓発というものは、雲をつかむようなところがあるので、回数やアドバイスの数、率だけでなく景観がどう守られたのか、形成されたのかをしっかりと把握すること。	